

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	NPO法人こぐまくらぶ えくぼ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域連携・交流 法人内事業所に「保育園」があり、インクルーシブ保育（不定期開催）に基づいて交流を行っている	保育園との連携強化を行い、児童の状態や状況の情報共有を密に行っていることで、ご家族への安心感に繋がっている	インクルーシブ保育という概念を意識的に継続して持ち続け、保育園との交流（不定期開催）を継続して実施する
2	保護者への説明・情報共有の状況 連絡ノートやLINE等を活用したご家族への個別情報共有、活動成果発表会の実施	連絡ノートでの日々の活動の様子や身体的状況の共有を実施している。又個別ではあるが、LINEにて日々の活動の様子や表情等ご家族と共有している 1年間の様子をアルバムを作成や年度末には活動の成果発表会を実施している	ご家族からも好評を得ており、継続実施する事で更に充実させ、LINEや連絡ノートを通して円滑にコミュニケーションを行う為に今後も密に情報共有を実施する
3	職員の専門性と対応スキル 職員への内外研修を通して児童の障がいへの理解や個別特性の理解を深める機会を提供すると共に、ケース会議や打合せ等を活用した状況共有の強化を図っている	各職員が障がいへの理解を深め、対応力を向上させ、ご家族と密に連携を図る事で、ご家族との関係性の向上に繋がり、信頼関係を深めている	ご家族との信頼関係を継続させる為、おひとりお一人の特性を理解し、対応力の向上を目指す

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の促進 ご家族同士の交流の場を設定しているが、浸透していない	情報発信の不足、ご家族にとって魅力ある内容が課題	ご家族同士の情報交換や悩みの共有が出来る環境作りに取り組んでいる。こうした取り組みを通じてご家族同士の繋がりが生まれ安心できるサポート体制の維持が必要
2	環境・体制整備 スペースが限られている為、空間的な課題がある	児童が活動するスペースはあるものの、活動で使用する、座位保持椅子、歩行器等を置く事で活動スペースに制限がある	出来る限り活動に必要な福祉機器のみ配置し、使わない福祉器具を倉庫に整理し（倉庫の設置等を現在設置に向け進めている）随時見直しを行う事で適正な空間の確保に努める
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援事業所 えくぼ
------	---------------

公表日 2025年 2月 28日

利用児童数 2024年11月30日

回収数 9

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	2	1		もう少し広かったらいいと思うが、ごじ んまりしていいと思う	室内空間を広々と使用出来る様、整理整 頓を心掛け、活動目的に適した活動ス ペース確保に努めます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1				人員配置基準に基づき、保育士、看護師 等配置を行っている
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になってい ますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	9					
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか。	8	1				ケース会議や法人内研修等を通して障がい特 性への理解向上に努め職員間、ご家族とも状 況や状態を密に共有した支援を実施している
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供 する支援内容と合っていると思いますか。	9					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズ や課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 (個別支援計画)が作成されていると思 いますか。	9					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの 「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から こどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その 上で、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	9					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	9					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思 いますか。	9					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、そ の他地域で他のこどもと活動する機会がありま すか。	9				毎週交流が出来る。行事も一緒に参加出 来ることがうれしい	法人内保育園との不定期開催で交流を 実施している
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラ ム、利用者負担等について丁寧な説明がありま したか。	9					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の 説明がなされましたか。	9					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加 できる研修会や情報提供の機会等が行われてい ますか。	8	1			予定が合えば茶話会に参加出来たらよい と思う	今後もご家族に認知して頂ける工夫を行うと 共に、ご家族同士の交流やイベント、相談会 を実施、お便り等活用し開催情報を発信を 継続する
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こ どもの健康や発達の状況について共通理解が できていると思 いますか。	9				れんらくノートを見るのが楽しみ。送迎 時にもお話が来ています	日々の連絡ノート、送迎時等、状況に応じ た方法で状況の共有を実施している
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支 援が行われていると思 いますか。	9					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされてい ると思 いますか。	9					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催 等により、保護者同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだい向けのイベントの開催 等により、きょうだい同士の交流の機会が設 けられるなど、きょうだいへの支援がされて いますか。	7	1		1	茶話会があるがどうい うものかわからない	「茶話会がどうい うものかわからない」と のご指摘もあり、更に 内容を発信出来る工夫 及びきょうだい児への 支援も検討を進める	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				娘の特性や性格をよく理解して下さっている。安心して送り出せる	常に安心感を持って通所して頂ける様、日々ご家族・職員間で児童の状態、状況を共有、連携を取る取り組みを実施している
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9					
	29	事業所の支援に満足していますか。	9					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 えくぼ		公表日		2025年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	3	片付けや物の配置を工夫している 物品の整理保管	活動スペースは限られている為、活動に必要な物品等の整理を行い、倉庫の設置を進め、適切な空間の確保に努めます	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	おもちゃや教材を常に片付けている	ラベリング等を活用して視覚的に分かりやすく、使いやすい棚の工夫に努めます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9			活動スペースを仕切る工夫や、物品を整理整頓を心がけ、空間の消毒を行う事で安全な活動スペースの確保に努めます	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	5	入浴支援では浴槽、排泄支援（オムツ交換）等はベッドを使用する事で安全な支援を提供している	必要に応じてサークル、衝立の活用を検討します	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		個別支援計画に基づいて毎月目標を立て、日々個別支援計画の目標を職員間で共通認識を持ち活動の提供を実施し、日々の支援記録に基づいてモニタリングに反映している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		都度意見を反映する機会を設けているが、今後も面談等を通して意見が反映出来、業務改善に努めます	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		パンフレット等でプログラム内容は掲載している。 個別支援計画の支援内容に基づいた支援プログラムを作成中	「支援プログラム」については令和7年4月にホームページに掲載、公表予定です	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		医療的ケアが必要な子どもの状況変化には随時対応している 個々のニーズや課題を抽出、分析、現場スタッフの意見も取り入れた上で個別支援計画を作成している		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		事前に各職員に気づきや課題を確認している ケース会議や日々の打合せ等を通して児童個々の状態把握に努め、個別支援計画に反映させている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		個別支援計画に沿って毎月の目標を設定している	共有はされている。今後も支援の方向性を職員間で共有し更なる支援強化を目指す	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3		「適応行動」「標準化」についての学習機会の提供を行います	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1		個別支援計画に反映、周知している。今後ケース会議を活用し、ガイドラインの読み合わせや等更なる理解が深まる工夫を行います	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1		児童の状態や現状に沿ったプログラム内容を職員同士で検討しており、今後も継続します	

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	4	日々反省点があれば共有している 時間の確保が難しいが朝の会・お昼寝の時間に共有している・日報やLINE等で共有している	職員の勤務時間が違うため支援終了にすり合わせが出来ていない為、職員参加型の朝の打ち合わせ時に確認事項、振り返り事項を共有を今後も継続します
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		毎月モニタリングを作成し、ご家族との状況や状態を共有し、必要に応じた見直しを実施している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		支援者会議、担当者会議等適宜参加する事で、共通理解、共通支援に努めている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	3		現在就学対象の児童がいないが今後対象児童年齢があがる児童がいる為、情報提供や情報共有に努めます
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1		必要に応じた連携、状況に応じたのスーパーバイズを検討します
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	1		法人内保育園とのインクルーシブ保育で交流を行っています
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		日々の連絡ノート、送迎時等、状況に応じた方法で状況の共有、共通理解を実施している	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3		情報発信の回数が少ない為、今後情報提供等を行いご家族の困り感の拾い揚げの工夫に努めます	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		ご家族との定期的な面談、必要に応じた面談を行い、ご家族に意向や児童の状況、状態の確認を実施している		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月こくま便り、ほけん便り、日々の個別でのLINE等の活用にて情報発信、連絡体制強化に努めている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3		地域住民を招待することは現在実施していないが、実習生の受け入れ等を行っています
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		定期的なマニュアル確認や備品確認、避難訓練、救急救命訓練を実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		今後もさらに、事業所内での安全計画に対する職員の認識向上に努め、児童が安全に活動できる環境整備に努めます
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			安全計画に基づき職員がしっかり把握する備品状況等の把握と周知します
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		年一回の法人全体の研修・毎月の虐待チェックを行っている	法人内での取り組みと職員からの意見をケース会議等で取り上げ、職員間で共有認識が持てる様今後も取り組みを継続します
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9				